

えびなの教育

第11号



発行 年3回・12500部

編集・発行 海老名市教育委員会

〒243-0492 海老名市勝瀬 175-1

☎046 (231) 2111

←市のホームページへはこちら

教育長 新年のあいさつ



新年、明けましておめでとうございます。

今年は、2016年、平成28年、申年、^{さるどし}丙申^{ひのえさる}の年です。さまざまな申年の説がありますが、悪いことや病気が「さる」ということで、よいことや幸せがやって来るといわれています。また、申という文字から「伸びる」年ともいわれています。

子どもたちには、ぐんぐん力を「伸ばし」、一人ひとりの子どもに「幸せ」がやってくることを願っています。

さて、みなさんは、どのような思いで、新たな年を迎えられたのでしょうか。

私は、自分の職の使命として、海老名市の教育計画「えびなっ子しあわせプラン」を、さらに粘り強く推し進めることを今年の目標としました。

今年も、みなさんのご理解とご協力、ご支援を、よろしくお願い致します。

海老名市教育委員会 教育長 伊藤 文康

2面 今冬もインフルエンザが流行

3面 小中一貫教育 試行校の取組

《主な内容》

よりよい授業づくりのための訪問指導

海老名市社会教育計画を策定

全国学力・学習状況調査結果

4面 えびりーぶからのお知らせ

教育長コラム

市のホームページ 「教育長の部屋」を ご覧ください♪

昨年の9月から、市のホームページに「教育長の部屋」を開設し、伊藤教育長の思いや考えを発信しています。

閲覧方法

トップページ→暮らしのガイド
→子育て・教育→教育委員会→
「教育長の部屋」



第37回 新春はやし叩き初め大会

入場無料



日時：平成28年1月24日(日)

10時から16時まで

場所：海老名市総合福祉会館

(海老名市上郷474-1)

※小田急小田原線海老名駅西口
から徒歩5分主催：海老名市はやし保存連絡協議会
海老名市教育委員会

市内各地域のはやし連や保存会が集まり、古くから伝わるまつりばやしの演奏を披露します。地域婦人連絡協議会による「太黒舞」では恒例の飴まきもあります。

庚申塔とは・・・江戸時代に多くつくられた石造物で、現在も道路脇等に残っています。



「海老名の庚申塔」石に彫られた申たち」
平成28年1月4日から平成28年1月31日まで申年にちなみ、猿のついた庚申塔を写真などで紹介します。温故館周辺の庚申塔を巡ってみてください。

海老名市温故館資料展



今冬もインフルエンザが流行しています!!

インフルエンザは毎年冬に流行し、流行のピークを迎える1月から2月には、市内の小中学校で学級閉鎖が発生しています。

インフルエンザの予防には、「かからない」「移さない」よう、早めの対策をとることが大切です!!

インフルエンザは
どんな病気？

インフルエンザ ウイルスの種類

現在、ヒトの世界で
流行しているウイル
スは、3種類です

- ・A/H1N1型
- ・A/H3N2型
- ・B型

ウイルスの違いに
より、症状等に大きな
差はないといわれて
います。

感染経路

ウイルスは、だ液や鼻水に含まれています。インフルエンザにかかっている人が咳やくしゃみをする、だ液や鼻水が飛散してウイルスが放出され、主に2つの経路で体内に侵入します。

- ①飛沫感染…咳やくしゃみで 放出されたウイルスを直接吸い込む。
- ②接触感染…ウイルスが付着したもの（机、ドアノブ、スイッチなど）を触った手で、目、鼻、口などに触れる。

潜伏期間

通常1日～3日
ですが、それ以上の
場合もあります。

症 状

急激な高熱・頭痛・腰痛・筋肉痛・
全身倦怠感などの全身症状が現れます。
これらの症状と同時か、やや遅れて、
鼻水・咽頭痛・咳などの呼吸器症状が現
れます。

～出席停止期間～

発症後（発熱翌日を1日目とする）5日を経過し、かつ解熱後（解熱翌日を1日目とする）2日を経過するまでです。

抗インフルエンザ薬の効果で熱は早く下がりますが、インフルエンザウイルスの感染力はしばらくの間残っています。出席停止期間に従い、感染力が弱くなるまで登校を控えましょう。



感染拡大を防ぐポイント「咳エチケット」



- 咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
マスクがない時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 鼻水・たんなどを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。
※咳エチケット用のマスクは、薬局やコンビニエンスストア等で市販されている不織布（ふしょくふ）製マスクの使用が推奨されています。

【参考】厚生労働省 HP「今冬のインフルエンザ総合対策について」

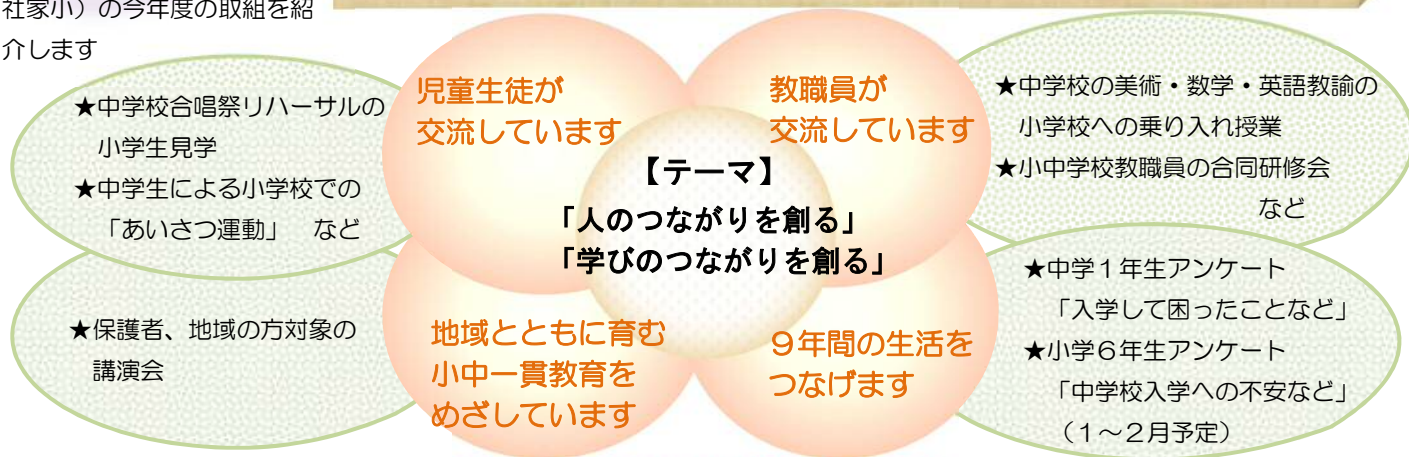
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/>

小中一貫教育 試行校の取組

試行校である有馬中学校区
（有馬中・有馬小・門沢橋小・
社家小）の今年度の取組を紹介し
ます

小中一貫教育導入のねらい

- 小中学校生活から中学校生活へスムーズな移行を図ることによる、中 1 ギャップ(※)の解消
 - 小中学校教職員相互の学び合いによる「義務教育 9 年間で子供を育てる」意識の共有
- (※) 中 1 ギャップ：中学校入学時、学習内容や生活リズムになじめないこと等により不登校・いじめが増加する現象



よりよい授業 づくりのため の訪問指導

今年度より市教育委員会指導主事が、市内小中学校の全ての教員の授業を参観する訪問指導を始めました。授業後には、平成 26 年度に小中学校の教職員と教育委員会指導主事からなる委員会で作成した「よりよい授業づくりのための 66 のポイント」の冊子（右図）をもとに、指導主事と教員が話し合う機会を設けています。



この訪問指導のねらいは、知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくむための授業を共に考えていくというものです。

教員は、海老名市子どもたちが主体的に学習に取り組むことができるよう、よりよい授業づくりに努めています。

「海老名市社会教育計画」を策定しました

海老名市教育委員会では、学校が地域のキーステーションとなり、学校と地域が協働することで、子どもと大人が共に学ぶことのできる環境づくりを目指しています。

その実現のために、社会教育委員会議を中心に協議を重ね、このたび、「社会教育計画」を策定しました。

この計画には、学校応援団や PTA 活動の推進、社会教育団体の活動支援などの施策が盛り込まれています。海老名の社会教育に関するみなさんのご理解と積極的な参加をお願いします。



『全国学力・学習状況調査結果』

市ホームページで
公開しています。

市では、平成 27 年度全国学力・学習状況調査の市全体の結果について、海老名市ホームページで公開しています。

昨年 11 月中旬に学校の結果をご家庭に配布しました。各小中学校の公表内容についてもホームページで公開しています。

● 公表内容

- ・ダイジェスト版
- ・結果概要
- ・小学校国語・算数・理科の調査結果
- ・中学校国語・数学・理科の調査結果
- ・児童生徒質問紙の調査結果
- ・学力向上のための「8つの教育施策」について
- ・小中学校の結果（配布冊子の内容）

海老名市ホームページでの閲覧方法 ぜひ、

【方法 1】トップページ→お知らせ

ご覧ください

→「平成 27 年度全国学力・学習状況調査 海老名市の結果」をクリック

【方法 2】トップページ右上の検索バーに **学習状況調査** と入力し検索

→「平成 27 年度全国学力・学習状況調査 海老名市の結果」をクリック

海老名市教育支援センター 「えびリーぶ」からのお知らせ

平成27年 海老名市子どもの年事業 ～いじめ防止アイデア・トーク、標語入賞者決定～

市内小中学生を対象とした、「いじめ防止アイデア・トーク」（応募 970 点）及び標語（応募 92 点）の入賞者は次のとおりです。多数のご応募ありがとうございました。

小学生 アイデア・トークの部

★最優秀賞★

小林彩珠（海老名 6 年）

★優秀賞★

大友煌晴（上星 1 年）、紺谷咲桜（有鹿 2 年）、
小島托海（門沢橋 3 年）、野口歩美（上星 4 年）、
齋藤琉生（社家 6 年）、山道創太（東柏ケ谷 6 年）

中学生 標語の部

★最優秀賞★

真田柚花（海老名 1 年）

★優秀賞★

有賀笑花（有馬 2 年）
中溝紗希（柏ケ谷 2 年）

教育長からのメッセージ

おうほ
応募ありがとう。

みなさん、ひとりひとりが、いじめのことについて ^{かんが} 考えてくれたことが、うれしいです。

みなさん、ひとりひとり ^{せかい} は、世界でたったひとつの、とても大切な ^{いのち} 命です。

だから、おたがいに、助けあうことや思いやることは、大事なことです ^{だいじ} が、いじわるを ^{かな} したり、悲しませたりすることは、ぜったいにしてはいけないことです。

どうすれば、おたがいに、^{たの} 楽しく生活できるか、これからも、ひとりひとり、^{せいかつ} 考えてほしいです。ほんとうに、ありがとう。これからもよろしくおねがいします。

★最優秀作品は、市の教育行政の取り組みの中で活用していく予定です。

教育長コラム

～第7回 「大人の責任」～

子どもたちを取り巻く環境の変化が、子どもたちを悲しませる、悩ませる、苦しめるような様々な問題を引き起こしています。「いじめ」「不登校」「子どもの貧困」・・・。

考えてみれば、そのような環境を作り上げたのは、私たち大人です。いつの時代もそうなのですが、子どもたちは大人たちが作る社会に翻弄されて生活するしかないのです。

子どもたちが、今、受け取る様々な問題や、子どもたちが、将来、受け取る社会に、子どもたちの責任はないのです。

年のはじめから、重いコラムで申し訳ありませんが、私たち大人は、真剣に、今と、将来の子どもたちの「しあわせ」のために、何をどうすればよいか真剣に考えるべきだと思うのです。

今年も、可愛い子どもたちのために、私は、みなさんとともに「大人の責任」を果たしたいと思っています。よろしくお願いします。



次号の「えびなの教育」は4月発行です